

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		公表						
事業所名		社会福祉法人 無量会 放課後等デイサービス りんどう						
		公表日 2026年1月20日						
		利用児童数 :29名		2025年11月20日		回収数 : 23		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1		3		・個別のスペースがないため、パーテーション等を利用して工夫はしているが十分ではない。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		6		・職員紹介のパンフレットは写真入りで配布している。 ・職員配置基準などの説明は十分行っておらず、モニタリング等で機会があれば説明していく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		3		・現在の利用者は必要ないが、必要性が生じれば対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21			2		・掃除については、受け入れ時間の後にを行い、必要に応じて利用のない時間に適時行っている。職員会議の日に片付けも含めて普段できない所の掃除も行っている。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23					
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	23					
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			2		・運動や制作など、6つの分野に分けて企画し実施している。利用者のニーズにあった内容になっているか検証する必要がある。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	1		4		・地域と交流する機会が少なく、今後の課題。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1				
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2		1		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができているだと思いますか。	21	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	3		4		・家族会は組織されていない。具体的に運営してくことは難しいと思われるが、研修会や家族を事業所に招待する機会は設けており、より充実させていきたい。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	3		3		・相談等に対しては、その都度対応しているが、遠慮なく相談できる関係性ができているか検証する必要はある。 ・苦情については、契約時に説明している。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			5		・各種マニュアルについては、保護者に対して説明はできていない。周知・説明する機会を設定する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			5		・年に2回、避難訓練は実施しているが、当日参加した利用者の保護者にしか伝えていない。他の保護者にも実施していることを伝える必要がある。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			3	・周知されておらず、今後の課題。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	23					

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 無量会 放課後等デイサービス りんどう				
		公表日 2026年1月20日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1			・区切りがもう少しあれば
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				・迎えの関係で、手薄になる時間帯がある。 ・職員配置が適切であっても職員の経験の差によって影響がある。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1			・学習室や休憩場所などの区切りはある。 ・バリアフリー化はされていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2			・パートナーシップ等を利用して個室化しているが十分ではない。 ・クールダウンできる部屋があれば。
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適 切 な 支 援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	8				
	13 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				・全ての利用者、全ての目標になると、職員間の共有は難しい。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				・日々の様子については、ケース記録に残している。
	16 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1			

の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	8			・個別課題を設定し、宿題後に行っているが、個々の課題に沿った提供までには至っていない。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4		・職員の退勤時間と送迎時間との兼ね合いで振り返りの時間を確保するのは難しく、退勤までの時間で情報の共有は心掛けている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24 【放ディのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	1		
	25 【放ディのみ】子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			・地域交流の機会はない
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		
	29 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		・加西市内の放ディの事業所とは、放ディ連絡会を年3回実施し、春休みには合同のミニ運動会を行った。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	31 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			・家族支援プログラムはないが、家族向けの交流会や研修会は行っている。
	32 【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33 【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34 【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35 【児発センターのみ】質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36 【児発センターのみ】(自立支援)協議会・子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37 【放ディのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			・情報共有できている学校もあるが、できていない学校も多い。 ・緊急時の引き渡しに関する取り決めが整理された。
	38 【放ディのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		・こちらから問い合わせることが多い。

	39	【放ディのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		・該当ケースなし
	40	【放ディのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7			・加西市主催の子ども支援会議に参加している。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	2		・計画見直し時の面談を元に計画書に反映し、確認しているが、別の機会は設けていない。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			・送迎時にその日の様子は伝えるように心掛けている。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		・保護者会やきょうだいの交流の場は設けていない。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			・定期的な発行物はないが、毎月利用状況報告書を届けており、日常的にはラインを使って情報提供を行っている。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		・地域とかかわって行う活動は行えておらず、今後の課題。
非常時等の対応	51	【放ディのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1		
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2		・現在、医師の指示書に基づく利用者はいない
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			・事故対応マニュアルがなく、地域との連携もできていない。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			・見落としているヒヤリハットが多いかもしれない。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2		・該当者なし
----	--	---	---	--	--------

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 無量会 放課後等デイサービス りんどう			
○保護者評価実施期間	2025年10月25日 ~ 2025年11月20日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	26名	(回答者数)	24名	
○従業者評価実施期間	2025年10月25日 ~ 2025年11月20日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	8名	(回答者数)	8名	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な療育内容や体験	日々の療育では、運動、制作、療育ゲーム、自立課題を日替わりで提供している。おやつ作りや畠作業も随時取り入れ、療育内容が多様化するように工夫している。また、学校休業日や長期休みには、昼食作りや工場見学、川遊びなど、普段経験できない活動を提供している。	それぞれの療育について、何を獲得するために行っているのか明確にし、共有して支援する。集団療育であっても個々のニーズに合わせた支援を意識する。そのためには、個々の支援計画書の内容を把握しておく必要がある。また、療育内容の質を高めるとともに、個別の療育も並行して実施していく。
2	他事業所との連携や活動	法人内の事業所と連携し、毎週1回の合同公園遊びや、年間行事として夏祭りや運動会などを開催している。 加西市内の放デイ事業所で組織している放デイ連絡会を年3回実施しており、情報交換や共通課題について論議している。また、連絡会合同の行事を年1回行っている。	大きな集団で行うメリットを最大限に活かした取り組みが求められる。
3	事業所独自の活動	市内の事業所を招いて2025年7月に喫茶りんどうを買いました。2026年2月には、家族を招待して開催予定。利用児の職業模擬体験や自己有用感を高める事や事業所内の様子や活動を知ってもらうことを目的に行っている。	地域に開かれた事業所に向けた取り組みが必要。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児一人当たりのスペースは確保されているが、カームダウンや静養できる個別スペースが確保されていない。	店舗であった建物を使用しているため、構造的に個別スペースを確保できていない。リフォームを行うには資金面で難しい。	パーテーションやソファーや毛布などを使用し工夫はしているが、少しでも個別スペースが確保できるよう検討が望まれる。
2	職員の専門性の向上	今年度より、オンラインによる研修を導入し、これまで以上に研修体制は整ってきたが、実践におけるスキルの向上が求められる。	個々のスキルアップだけでなく、利用児の情報共有などチームで支援している意識を高める。また、他事業所の実践を見学できる機会を作る。
3	保護者に対する支援や情報提供	毎月、利用児の様子を書面で伝えたり、半年ごとのモニタリングで懇談を設けているが保護者のニーズに応えられているか振り返る必要がある。	保護者が参加できる外部の研修を知らせたり、法人とともに保護者向けの研修を不定期に実施しているが、それ以外にも機関紙の発行や保護者のニーズに応えられる取り組みを検討していく。